

令和3年度 応神中学校 総括評価表

自己評価			学校関係者評価	次年度への課題と今後の改善方策
重点課題	重点目標	評価指数と活動計画	評価	学校関係者の意見
1 豊かな心の育成	①人権教育の推進 ②自尊感情を高める教育活動の推進	<p>評価指標</p> <p>生徒アンケートにおいて ①「互いの人権を大切に、仲間を大切に生活している。」 95%以上 ②-1「自分のことが好きである。」 70%以上 ②-2「自分が責任を果たすことを通して、充実感を得られるような教育活動を学期に1回以上実施する。」</p> <p>活動計画</p> <p>①教職員で人権教育の研修を実施し、人権教育の推進を図る。 ②自分を認められるような生徒への声かけを教員が心がける。 ③個に応じた支援と授業のユニバーサルデザイン化を図る。</p>	総合評定 (評定)	
2 たくましく生きる力の育成	①健やかな体の育成 ②生徒主体の活動の活性化	<p>評価指標</p> <p>①毎日、検温、手洗い、消毒を徹底するよう促し、新しい生活様式を意識した生活を心がける。 ②-1「清掃活動や校内美化活動に進んで取り組んでいる。」 85%以上 ②-2「目標をもって学校生活を過ごしている。」 75%以上</p> <p>活動計画</p> <p>①保健だよりや給食だよりなどで、健康の保持増進を啓発する。 ②生徒会専門委員会での生徒による活動を充実させる。</p>		
3 確かな学力の育成	①「わかる授業」の創造 ②家庭学習の支援 ③学習規律の確立	<p>評価指標</p> <p>生徒アンケートにおいて ①先生は、生徒が意欲をもって学習できるよう工夫し、わかりやすく授業を行っている。90%以上 ②「1日の家庭学習の平均時間」 2時間以上60%以上 ③-1「授業の準備物などを忘れることなく、用意ができています。」 80%以上 ③-2「真剣に授業に取り組んでいる。」 88%以上</p> <p>活動計画</p> <p>①一人一台タブレットを効果的に活用する。 ②テスト前等に学習の仕方や学習のポイント等を生徒に配布する。 ③学校全体でチャイム着席を徹底するとともに、生徒の様子について共通理解を図る。</p>		
4 保護者・地域との連携	①積極的な情報発信 ②「応神学園」としての連携推進	<p>評価指標</p> <p>保護者アンケートにおいて ①-1「学校は、教育目標や教育方針を学校便り等を通じてわかりやすく伝えている。」 93%以上 ①-2「学校は、家庭への連絡や保護者との意思疎通を適切に行っている。」 90%以上 ②地域の幼小中高等学校や地域の方々と適宜連絡を取り合い、学期に1回以上情報交換をする。</p> <p>活動計画</p> <p>①ホームページや学校だよりなどで、教育活動の様子や積極的に発信する。 ③-教育活動や学校行事については地域や保護者などに呼びかけ、協力を仰ぐ。</p>		

「評定」の基準 A：十分達成できた B：おおむね達成できた C：達成できなかった